

千葉県立中央博物館における研究活動の基本方針（原案）

令和8年●月●日策定

前 文

千葉県立中央博物館は、自然科学・人文科学を包括する地域の中核的総合博物館として、県民と共に自然と歴史、文化に関わる資料や情報を収集・蓄積します。さらに、地域に根ざした科学的研究や、国際的な視野での科学的研究を推進し、その成果を県民に還元して学びと感動を共有することにより、知の創造と文化の発展に貢献します。

1 研究の自由と独創性

千葉県立中央博物館は、研究活動上の行動規範を遵守しながら、研究者の自発的な発想に基づく個性的で創造的な研究を尊重し、育成します。これにより、学術の進展とともに新たな知の創造をめざします。

2 研究の推進

総合博物館の特性を活かした柔軟な研究体制を構築し、地域や社会の要請に応じた研究を推進するとともに、研究者の旺盛な知的探求心を引き出します。こうした取組を通じて、千葉県における研究拠点としての地位を確立し、世界へ向けた発信も視野に入れた研究を推進します。

3 研究成果の社会への還元

研究は広く文化の創造に寄与し社会の期待に応えるものとの認識のもと、研究成果を展示・教育普及など博物館の諸活動に積極的に活用し、社会に広く発信して、その成果を社会に還元します。さらに、研究を通じた社会教育と人材育成を博物館の重要な使命と位置づけ、研究活動に裏付けられた豊かな社会教育を展開します。

4 研究環境

研究を円滑に遂行するために必要な体制の構築に努めるとともに、競争的資金の管理・監査に関する基本方針に基づき外部資金の積極的な導入を推奨・支援し、特色ある研究に対して十分な支援体制の確立を図ります。

5 研究活動の評価

研究目標の達成や成果の公表に時間を要することを踏まえ、中長期的で公正な評価を行い、他者からの意見や批判に真摯に向き合うことで研究活動の質を高めていきます。